

## 年 度 評 価 シ ー ト

課名 高齢者福祉課

施設の名称 静岡市井川高齢者生活福祉センター	指定管理者名 (福) 静岡市社会福祉協議会
<p>1 履行状況</p> <p>業務仕様書及び事業計画書に従って、概ね適切に履行されていた。</p> <p>(1) 維持管理業務 事業計画に従って、施設設備や送迎用業務車両の定期的点検業務が適切に履行されていた。</p> <p>(2) 介護サービス事業等 生きがいデイサービス、介護（介護予防）デイサービス等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設全体の延べ利用者数 2,048人（対前年度比：-166人、-7.5%）</li> <li>・ ショートステイの延べ利用者数 0人（対前年度比：-21人、0%）</li> <li>・ 生きがいデイサービスの延べ利用者数 56人（対前年度比：-83人、-59.8%）</li> <li>・ 介護（介護予防）デイサービスの延べ利用者数 1,721人 (対前年度比：-83人、-4.7%)</li> <li>・ ケアプラン作成の利用件数 271件（対前年度比：+21件、+8%）</li> <li>・ 生活支援型居室については、前年度と同様に利用者はいなかった。引き続き、当該サービスの周知に努めていく。</li> </ul> <p>(3) 地域交流事業 井川交番による防犯講話等（毎月2回実施）、井川小中学校との交流会（5回）、美容ボランティア（12回）等が実施された。</p>	
<p>2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）</p> <p>概ね好感。身近に感じる施設であり、明るく感じが良いという印象を持たれている。介護サービスについては、デイサービスの時間延長や土日利用の要望が挙げられた。また、椅子の破損による利用者の転倒事故が発生したが、診療所と適切に連携し対応できている。関係機関への連絡もスムーズに行っている。</p>	
<p>3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価</p> <p>(1) 利用者アンケート 施設利用者11人から回答を得た。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員対応（平均） → 満足10.8人（98.1%） 不満0人</li> <li>・ 送迎 → 満足11人（100%） 不満0人</li> <li>・ 食事 → 満足11人（100%） 不満0人</li> <li>・ 入浴 → 満足8人（100%） 不満0人 ※利用なし3人</li> <li>・ リハビリ → 満足10人（90.9%） 不満0人</li> <li>・ 日中活動 → 満足10人（90.9%） 不満1人（9%）</li> <li>・ 介護計画 → 満足11人（100%） 不満0人</li> <li>・ 福祉用具 → 満足5人（83.3%） 不満0人 ※利用なし5人</li> </ul>	

- ・ 医療連携 → 満足11人 (100%) 不満0人
  - ・ 家族要望 → 満足10人 (90.9%) 不満1人 (9%)
- 満足度は非常に高い水準となった。今後のサービス提供も期待したい。

(2) 市民アンケート

地域住民20人、利用者家族8人から回答を得た。

- ・ 施設の清潔感 → 満足25人 (89.2%) 不満0人
  - ・ 適切な使用備品 → 満足23人 (82.1%) 不満0人
  - ・ 利用時間 → 満足20人 (71.4%) 不満0人
  - ・ 対利用者への  
催し物の広告 → 満足25人 (89.2%) 不満1人 (3.5%)
  - ・ 防災避難訓練 → 満足21人 (75%) 不満1人 (3.5%)
  - ・ 地域交流の場の  
ための施設の開放 → 知っている9人 (32.1%) 知らない19人 (67.8%)
  - ・ 生活支援ハウス → 知っている6人 (21.4%) 知らない22人 (78.5%)
- 地域住民からの評価は概ね高いが、実際の利用は少ない。地域との連携を深め、より開かれた施設とするため、地域住民等との連携や事業の周知等、今後の活動に期待したい。

4 指定管理者の経理状況の評価

概ね予算書のとおり執行されており、良好である。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

デイサービス事業は、延べ利用回数は減少しているものの、延べ利用人数は増加した。ショートステイ事業は、年度中に利用者がいなかった。ケアプラン作成件数については近年増加している。

利用対象者数は限られており、利用者数を大幅に増加させることは難しい。しかし継続して利用の呼びかけや、地域住民との交流の機会を積極的に持つなどの地道な取り組みによって利用者の確保に努めていきたい。

※事務事故が発生したとき及びモニタリングにおいて改善の指導があったときは、必ず改善状況を記載すること。